

目次

はじめに	1
当日の流れ	4
事例紹介・発表用フォーム／参加者一覧	5

発表テーマ

No1	日本生活協同組合連合会 丹敬二 生協相談窓口に寄せられる、食物アレルギー関連問合せの実態と課題	6
	ディスカッション▶ よくあるお問合せ／ 本当に患者のためになる答えとは？	
No2	世田谷アレルギー児と家族の会スイートポテト 島上紀子 アレルギーを使用しない食品を選べるサイト「クミタス」について	16
	ディスカッション▶ 食品の頻繁な規格変更に対応？／情報更新の大切さ	
No3	NPO法人アトピzzi地球の子ネットワーク 赤城智美 食物アレルギー危機管理情報（FAICM）記事集計報告	19
	ディスカッション▶ 繰り返される食品の回収／再発防止・改善に向けて	
No4	NPO法人食物アレルギーパートナーシップ（FAP）丹敬二 消費者庁アレルギー表示見直し案の内容との意見・提案	23
	ディスカッション▶ どう防ぐ、誤食につながる表示の見落とし／ 原因を集約した改正が必要	
No5	NPO法人千葉アレルギーネットワーク 桐谷利恵 「ノンアレカフェ」で出会った、2つの相談事例	28
	～京都発・修学旅行等受入施設におけるスタンダードを目指して～ ディスカッション▶ アトピーと食物アレルギーで異なる治療方針／ 医師と栄養士の連携という課題	
No6	NPO法人アトピzzi地球の子ネットワーク 岡村直子 ある患者さんの生後8か月から現在（13歳）までの相談記録	32
	ディスカッション▶ 「他の人はどうなの？」がはらむ危険／ そのステロイド治療、正しく行われていますか？	

No7	千葉食物アレルギー親と子の会 森田香緒里 食物アレルギーのある親子の心理アンケート 36 ディスカッション▶ 親の気持ち、子どもの気持ち／当事者の気持ちを知ることが大事	36
No8	返子食物アレルギー親の会yummy (ヤミー) 照下千恵 「この状況はいつまでつづく?」「死んでしまうのでは?」の不安に寄り添う 39 ディスカッション▶ 栄養士もアレルギーの専門家とは限らない／症状の軽重で差異はない	39
No9	NPO法アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと 小谷智恵 保護者ひとりひとりのつらいこと、しんどいこと 42 ディスカッション▶ 医師によって異なる診断・治療／市民団体の役割とは?	42

特別 講演	畠山洋輔さん 社会学者 (診療ガイドラインの作成支援・普及に関わる研究等) 「診療ガイドラインの役割について」 46	46
------------------	---	-----------

特別 講演	牛山美穂さん 早稲田大学高等研究所助教 (文化人類学・医療人類学) 「語ることと相談について」 63	63
------------------	---	-----------

ご感想・ご講評 (発表順)

患者会ができること、専門家ができること、そして両者ができること 畠山洋輔さん 社会学者 (診療ガイドラインの作成支援・普及に関わる研究等) 70	70
---	-----------

専門医としての重み、親の育ちにくさにも目を向けて 木村彰宏先生 神戸医療生活協同組合たやどクリニック院長・小児科 70	70
--	-----------

寄稿

患者・家族支援の課題／社会的な周知・理解を進めるために 72	72
--------------------------------------	-----------

小谷智恵さん NPO法人アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと

子どものニーズと親のニーズ/ケアの構造から見えるもの 73	73
-------------------------------------	-----------

大日義晴さん 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科・助教 (家族社会学)

患者の語り／病気と病いをめぐる患者の思いに耳を傾ける 75	75
-------------------------------------	-----------

赤城智美 PO法人アトピッズ地球の子ネットワーク)